

I 学年通信『原:げん』

～2026W杯の熱狂を、自分の成長に変えろ！

日本代表のように、この夏「最高のゴール」を決めよう～

現在、アメリカ・カナダ・メキシコを舞台に熱戦が繰り広げられている「FIFA ワールドカップ 2026」。世界のトッププレイヤーたちが、たった一つの「ゴール」をめざして全力で戦う姿は、見ている私たちの心を激しく揺さぶっています。あのピッチで輝いている選手たちを見て、「すごいな」「格好いいな」で終わらせてはもったいない！彼らの姿から「目標(ゴール)を達成するためのヒミツ」を学びましょう。【第23号の目標設定に関連します！】

① 「逆算」して目標(ゴール)を決める

W杯に出場している国は、どこも「優勝する」「ベスト〇に入る」という**明確な最終ゴール**を掲げ、そこから逆算して「じゃあ今日の試合ではどう戦うか」という**作戦を立てています**。みなさんの夏休みも全く同じです。学年スローガン『原』の柱である「**自学の原点**」を築くためにも、まずは「**40日間の夏休みが終わったとき、どんな自分になっていたいか**」という**最終ゴール**を1つ決めましょう。

学習のゴール例: 「1学期の数学の遅れを取り戻し、2学期最初のテストで自己ベストをめざす！」

部活のゴール例: 「先輩の練習についていき、夏休み明けの練習試合で活躍する！」

生活のゴール例: 「スマホに振り回されず、毎日8時間睡眠をキープして体を強くする！」

大きなゴールが決まったら、それを「**今週の作戦**」「**今日の作戦**」へと細かくし、SN(スケジュールノート)の「**予定・やること**」欄に落とし込んでいくのが、W杯流の目標達成術です。

② 一流選手は「目標」を言葉にする(有言実行)

世界のトッププレイヤーたちは、大会前から「自分がゴールを決めて勝つ」と、**メディアの前で堂々と自分の目標を言葉にしています**。言葉にすることで**自分によりプレッシャーを与え、覚悟を決めている**のです。目標を決めたら、ぜひSNの**目標設定欄**に大きく書く、お家の人に宣言するなど、**言葉にして目に見える形にしてください**。誰かに伝えることで、それはただの「夢」から「絶対に達成する目標」へと変わります。これは自分を律する「**誠実の原理**」にも繋がります。

③ 「想定外のピンチ」を乗り越える準備をしておく

W杯の試合では、思い通りにいかないことばかりです。突然の失点やケガ。それでも**強いチームが崩れないのは、「ピンチが起きたときにどう立て直すか」をあらかじめ準備しているから**です。みなさんの夏休みにも、きっとピンチが訪れます。「つい夜更かししてしまった」「だらだらして計画が遅れた」…。**そんなとき、諦めて試合放棄(挫折)してはいけません。「行動が先、感情は後」です**。もしサボってしまったら、次の日は午前中に**遅れた分を取り戻す**というように、**リスタート(立て直し)の作戦もSNに書き留めておきましょう**。「とも・かく・うご・こう」の精神で、何度でもピッチ(学習や部活動)に戻ることが大切です。

40日間の夏休みは、中1のみなさんにとって、自分自身が監督であり、選手でもある「**一つの大きな大会**」です。テレビの中で輝くW杯の選手たちも、かつては皆さんと同じ中学生で、地道な努力と目標設定を繰り返してきました。長い夏休み、途中で足が止まりそうになることもあるかもしれません。そんなときは、**世界中を沸かせている選手たちの情熱を思い出し、学年スローガン『原』の心で、自分自身の「ゴール」に向かって力強く走り抜けてください**。最高の景色(始業式)を迎えられるよう、応援しています！

保護者のみなさまへ

いよいよ始まる夏休み、お子様が自らの目標に向かって「自律」した生活を送れるよう、ご家庭でもW杯の話題と共に、お子様がSNに掲げた「この夏のゴール」について耳を傾けていただければ幸いです。お子様が自分という「原石」を逞しく磨き上げられるよう、温かいサポートをお願いいたします。